

事業承継 支援深化へ



事業承継の支援を強化するために開かれた連携会議＝多治見市虎溪山町、とうしん学びの丘エール

東濃信金、商工団体と連携会議

東濃、可茂地域などの商工会議所、商工会と連携して事業承継の支援に取り組んでいる東濃信用金庫は25日、2025年度の活動総括などを報告する連携会議を、多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開催した。事業承継に関する相談は54件あり、親族内承継の相談が大きく伸びたことなどが報告された。

経営者の高齢化や、後継者不足のために廃業する事業所が少なくないことから、同金庫は事業承継の支援を強化する目的で、24年

度に東濃、可茂、各務原市の8商工会議所、9商工会と包括連携協定を結び、地域内でのネットワークを活用した事業承継の支援に取り組んでいる。

連携会議には各商工会議所、商工会のほか同金庫の支店長ら約100人が参加した。とうしん地域活力研究所が25年度の活動について総括。相談件数の54件は24年度比6件増で、このうち親族内承継は25件(24年度8件)と大きく増えた。第三者への承継も20件(24件)と高い割合で推移して

いた。
これまでの個別相談から見えてきた課題として、特に第三者承継では譲渡側には心理的な迷いなどから慎重な姿勢が見え、意欲的な譲受人とのミスマッチが発生していることが分かった。そのため26年度の活動

では、経営者が納得感のある決断ができるように伴走支援を深化させていく方針などが示された。
可児商工会議所からは親族内承継の支援事例、土岐商工会議所からは第三者承継が実現した事例の発表があった。
(小森孝美)